

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 27 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法根根拠. Includes details for '第四次石材振興助成事業' and '商工業の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about '真壁石燈籠' and '商工業の振興'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and performance indicators (26-30年度実績/計画/目標). Includes data for '指定産地振興事業' and '伝統工芸士'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel costs (人件費) for 26-30 years. Includes sub-categories like '国庫支出金', '事業費計(A)', and '人件費計(B)'.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 years. Includes '19 負担金補助及び交付金' and a total of 850.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28, 29, and 30 years. Includes a list of activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	第四次石材振興助成事業	事務事業No.	50203000542	所属課	商工観光課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成7年4月5日に真壁石燈籠が経済産業大臣指定の伝統的工芸品として指定された。</li> <li>平成8年度から平成12年度末までの5年間に第1次指定産地振興計画が実施された。</li> <li>5年毎に振興計画を策定し、平成23年度～平成27年度が第4次振興計画となっている。</li> <li>平成27年度に第五次計画(H28年度～H32年度)が策定された。</li> </ul>	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>石燈籠に続いて他の石製品についても伝統的工芸品の指定を受けたいと事業者から相談を受けている。</li> </ul>	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	平成27年度までで第4次振興計画が終了するため、現行計画の総括及び次年度以降の計画(第五次計画)策定時期にあたることから、より効果的な事業内容を計画に盛り込むことができるタイミングを迎えているため、策定会議に積極的に参加していく。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 当該事業は伝統的工芸品である真壁石燈籠の振興及び後継者の確保を目的としており、「石文化の普及・啓発と後継者育成」という政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 真壁石燈籠は経済産業大臣から指定を受けており、桜川市を代表する石材製品のPR事業に対して市が助成することは妥当である。また、国・県からも真壁石材協同組合に対して当該事業実施のための補助金を支出している。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 当該事業の活性化により、更に真壁石燈籠のブランド化、高付加価値化の余地はある。石材業界を取り巻く環境が厳しい中で、若者の石工離れがあり、後継者の確保は難しい状況にある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 当該事業が廃止した場合、伝統的技術・技法の継承が難しくなる可能性があるうえ、伝統的工芸品の指定を取り消される可能性もある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 当該事業は国・県とともに真壁石材協同組合に対して助成を行っており、第4次振興計画の中で市の一定の負担が求められている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 伝統工芸品及びそれを作る伝統工芸士の貴重な技術を対象としたものであり、その技術が途絶えないよう振興策を取ることは市のブランド化にもつながるため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	石材業全体の傾向と同じく、徐々に後継者確保が困難になってきている状況だが、当事業の補助金は第4次計画策定時に900千円→850千円へと減額している。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
(複数回答可) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
財政的な問題により、当初計画より徐々に補助を減らしている状況である。伝統工芸士の後継者確保が困難になっている状況から、より効果的な支援の方法を検討する。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>